

崇城大学 広報誌「岳風」2024 特別号

GAKUFU

Public
Relations
Magazine

ガクフウ

SOJO UNIVERSITY

TAKE FREE
2024 SPRING
SPECIAL ISSUE

NEW PRESIDENT OF SOJO UNIVERSITY

新たに就任した学長を大特集！

NEW PRESIDENT OF SOJO UNIVERSITY



GAKUFU SPECIAL ISSUE

INTERVIEW

崇城大学が目指す未来とは

多様化・グローバル化する社会では、常に教育改革が求められます。その中にあって崇城大学がいかに独自性を出し、大学としての役割を果たしていくのか。小野長門新学長にその思いを聞きました。

PROFILE

崇城大学学長
小野 長門(おの・ながと)

1959年、玉名市生まれ。防衛大学校理工学部機械工学科を卒業後、東京工業大学大学院理工学研究科金属工学専攻博士課程を修了。2023年10月に第3代崇城大学学長に就任。

新時代を見据えた中長期計画!

「ポストAI時代の知の拠点」を目指す

本学は1949年、建学の精神「体・徳・智」を掲げて創立されました。以後、現理事長である中山峰男前学長によって、5学部体制(工学部・芸術学部・情報学部・生物生命学部・薬学部)の大学になり、地域社会に貢献できる「エンジニア・クリエーター・スペシャリスト」を輩出しがけています。

このたび新学長に就任し、これまでの本学における発展の流れを継承しつつも、時代に即した斬新な教育改革の必要性を感じています。というのも、社会の変化に従つて学生に求められる能力も変わるために、特に近年は国際紛争や経済対立、食糧危機、異常気象などのグローバルな課題に直面しており、予測困難で不確実性の高い「VUCA(ブーカ)」の時代を迎えていました。私たちは、これからの時代を生き抜く若者を迅速かつ柔軟に育てていかねばなりません。

いま、産業構造に大変革をもたらす代表的なものとして、すでに社会インフラで一般化しつつあるAIが挙げられます。今後も進化するAIを“使いこなす”能力のある学生を育て、本学の教育を受けた学生が社会で活躍できるように「ポストAI時代の知の拠点」を見据えた中長期計画を策定し、「教育と研究」「地域連携と社会貢献」「大学組織と環境」ごとに目標を立て、教職員一丸となって創造的改革を進めています。

本学ならではの「体験型学修」の取り組み

変化の激しい社会の中での大学教育において重要なのは学生の主体的な学びです。その実現のため、本学では「学生の心に火をつける」

をキーワードに、授業のみならず課外活動も含めた「体験型学修」に特に力を入れています。

本学で能動的学習ができるユニークな施設として、学内にいながら海外留学しているような雰囲気のSILC(Sojo International Learning Center)があり、外国人教員17名の指導で生きた英語にチャレンジできます。そこでは「パイロットになりたい」「TOEICで好成績を目指す」など、一人ひとりの目標に合わせ続けています。



シップLabもありますので、将来にわたり熊本発ベンチャーがどんどん誕生していってほしいですね。

また、多くの大学が参加する「NHK学生ロボコン」「学生フォーミュラ日本大会」を目指し、ものづくり創造センターで競技用のロボットや自動車を製作する面白さを体験できます。このような課外活動および部活動も貴重な体験の機会です。一方で、コロナ禍で激減した大学主導の外国研修も次第に増えてきています。海外の協定校は現在38校ありますので、交換留学生との国際交流を活性化させて、グローバルな視点から人材を育成します。

「ワクワク・ドキドキ感」が学生の成長につながる

私は本学に着任して30年以上、様々な学生と関わってきました。社会情勢が変わっても、本学の学生の多くが「素直で素朴な若者」という印象はずっと変わりません。

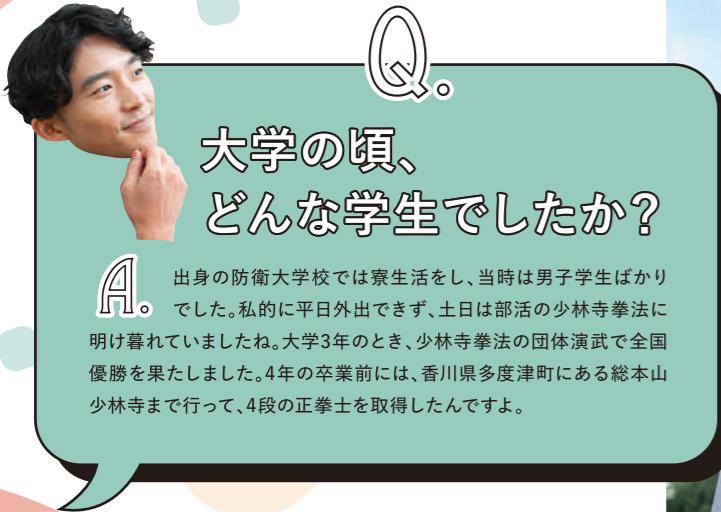
学部・学科の学びに加えて、先ほど挙げた本学独自のSILC、IoT・AIセンター、アントレプレナーシップ教育、ものづくり創造センター、各種課外活動、海外留学など、大学での学びを深化できる施設や絶好的の機会を学生には大いに活用してほしいと考えています。

こういった「体験型学修」は、きっと皆さんのが「ワクワク・ドキドキ感」を引き出してくれることでしょう。一人ひとりの興味と関心が刺激されて楽しさや面白さを味わえればモチベーションが高まり、必ず皆さんの成長に結びついて、それが社会に求められる人材へとつながっていくはずです。

人生の中でレベルの高い学びに自ら取り組むのに最もふさわしい時期が大学時代です。学生には時代の流れを読み取り、多くのことに積極的にチャレンジしてほしいですね。

学長! Q & A

小野長門新学長ってどんな人!?
在学生の4人が、プライベートや学生時代の話など、知りたい疑問を
なんでも聞いてみました。答えから新学長の性格が見えてくるかも!?



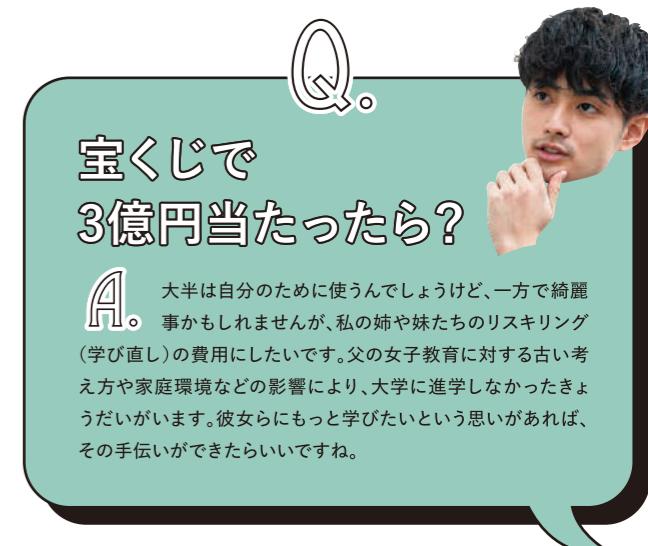
A. 出身の防衛大学校では寮生活をし、当時は男子学生ばかりでした。私的に平日外出できず、土日は部活の少林寺拳法に明け暮れていましたね。大学3年のとき、少林寺拳法の団体演武で全国優勝を果たしました。4年の卒業前には、香川県多度津町にある総本山少林寺まで行って、4段の正拳士を取得したんですよ。



A. 古い温泉地として知られる玉名に住んでおり、家族旅行で温泉に行くのが楽しみですね。特に最近はサウナが好きになり、ついつい「長時間チャレンジ」してしまいます(笑)。長湯から上がった後のおいしいピールがたまりません。



A. 小学校の高学年時に算数の面白さに気づき、数学が大好きになったので、それからずっと「数学の先生」でしたね。玉名高校時代の夏休みの課題において、自作した数学の解答集が同級生の間に回されて重宝がられました。結局私は別の道に進みましたけど、実は長男が数学の先生になり、代わりに私の夢を叶えてくれたように感じています。



A. 大半は自分のために使うんでしょうけど、一方で綺麗な事かもしれません。私の姉や妹たちのリスクリミング(学び直し)の費用にしたいです。父の女子教育に対する古い考え方や家庭環境などの影響により、大学に進学しなかったきょうだいがいます。彼女らにもっと学びたいという思いがあれば、その手伝いができたらいいですね。



A. 断然「コツコツ派」です! 求められるものにきちんと答えを出したいと考えるタイプで、常に早く準備しないと落ち着きません。新学長に就任し、各所から挨拶や取材・収録などの依頼が多くなるため、休日も活用しながらその準備に余念がないといったところです。



左から順に →

- ①生物生命学科 2年 黒瀬さん
(福岡県／敬愛高校出身)
- ②宇宙航空システム工学科 1年 石原さん
(沖縄県／陽明高校出身)
- ③薬学科 6年 田代さん
(鹿児島県／樟南高校出身)
- ④宇宙航空システム工学科 4年 乗峯さん
(鹿児島県／鹿児島第一高校出身)

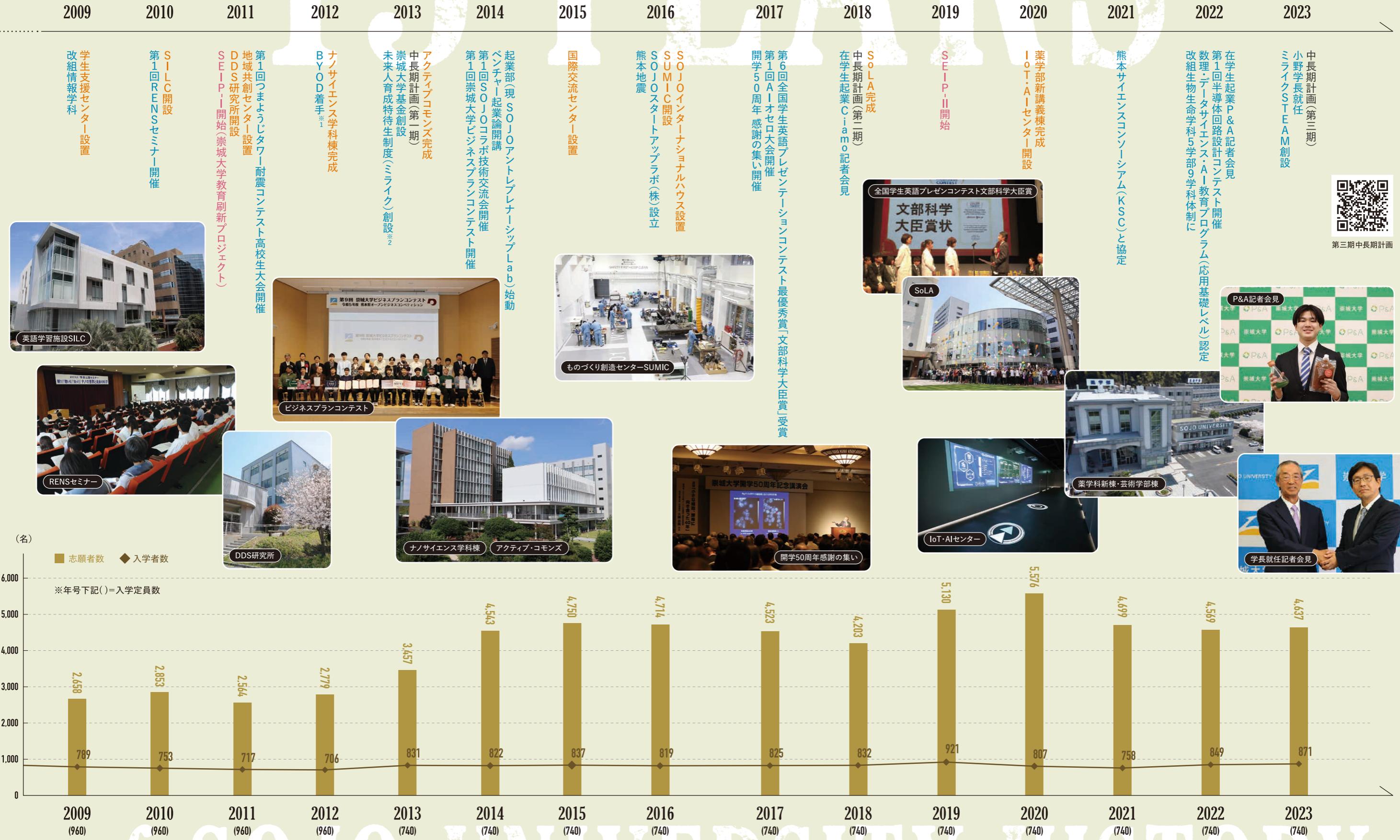


崇城大学15年のふり返り

15 YEARS of SOJO UNIVERSITY HISTORY

主な出来事
施設開設
教育改革
中長期計画

※1: BYOD (Bring Your Own Device) 学費を下げ、学生に私的デバイスの活用を促し情報教育を推進
※2: 入試得点率と成績順位に応じて選考される、崇城大学独自の特待生制度 通称「ミライク」
(ミライクプレミアムは授業料0円 ミライク50は授業料年間50万円になる)



崇城大学組織図

SOJO UNIVERSITY ORGANIZATION CHART

崇城大学

大学院

工学研究科
芸術研究科
薬学研究科

工学部

機械工学科
ナノサイエンス学科
建築学科
宇宙航空システム工学科

芸術学部

美術学科
デザイン学科

情報学部

情報学科

生物生命学部

生物生命学科

薬学部

薬学科

事務局

総合教育センター

SILC

機能物質解析センター
衝撃先端技術研究センター
エネルギー電気電子研究所
DDS研究所
指定航空従事者養成施設
航空機操縦訓練本部
ものづくり創造センター
IoT・AIセンター

庶務課

地域共創センター

教務部

教務課

学生部

学生厚生課
学生支援センター

就職部

就職課

入試広報部

入試課
広報課

図書館

国際交流センター
図書課

総務課

法人課

施設課

出版センター

総合企画課

総合情報センター

SDGs推進センター

福岡事務所

Dx推進本部

Dx推進室

